

町田市の宝、野津田公園・上の原広場の自然を未来につなごう 上の原広場の利用計画を見直してください

どんな広場？

FCゼルビアのホーム野津田公園には、サッカーをはじめとするスポーツだけではなく豊かな自然と希少な生き物が息づく大切な場所があります。そのひとつが「上の原広場」。

多摩丘陵の昔から続く原風景がここには今も残されています。虫や草花、鳥、さまざまな生命の歌声が聞こえてきます。野いちごがたわにみのり、ミツバチや蝶が小さな羽音をたてて蜜を吸いにきます。のびのび遊ぶ子どもたちの声も響きます。四季折々の美しい景色が広がっています。

この広場は近隣の小学校や幼稚園、保育園や福祉施設など、さまざまな人が日々のお散歩や遊び場、また生き物や環境についての学びの場として利用しています。



どういう
計画なの？

2014年度に町田市が作成した町田市第二次野津田公園整備基本計画に基づき、上の原広場はアスファルト舗装のバスの転回場への工事が予定されています。

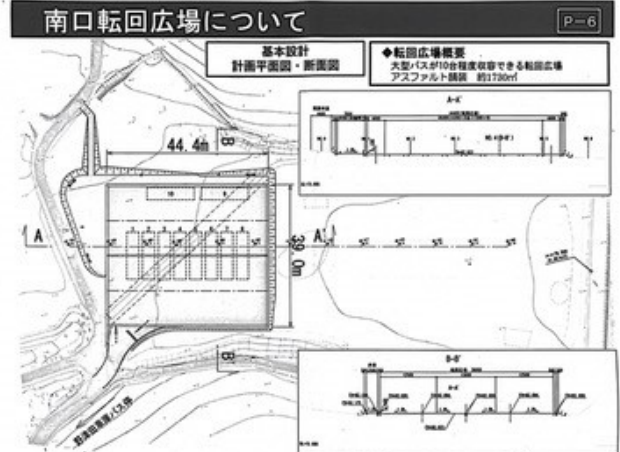
<スケジュール>

基本設計：2024年7月～2025年1月

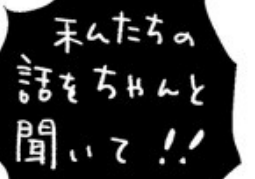
実施設計：2025年2月～3月

整備工事（予定）：2025年4月～2026年2月（今年10月には工事が始まる予定です）

利用開始（予定）：2026年2月～



問題点は？



- ・懇談会で出た意見が十分活かされずに第二次野津田公園整備基本計画が策定されてしまったこと。
- ・周知の仕方が住民を置いてけぼりにしていること。（一方的な計画のため対話がない）
- ・この計画が策定された2014年から10年間、近隣住民、ここを利用している施設への説明もなく、実施設計の段階において（2025年2月13日（木）19時～20時）ようやく住民への説明会が開かれたこと。（市のホームページに計画は載っているとあるが、非常にわかりづらい階層にあり、かつインターネットができない住民には全く伝わらない、町内会に加入していない世帯もかなり多い）
- ・バス転回場の利用方法として防災のためとしているが、実際どう利用されるかは想定されていない。また防災課との連携もされていない。同時に大規模イベントのためとの説明もあり、大規模イベントのためであるならば、他にも代替地があるのにこの場所にこだわるのはなぜか。
- ・計画通りに転回場が作られた場合、何が失われるかの周知が不十分なこと。

1：希少な植物の生息環境が壊されてしまう

（春、一面にカントウタンボポが咲くこの場所には、東京都指定絶滅危惧種のノカンゾウ、アマドコロなどが生息しています。）

2：子どもたちの遊び場、自然や環境の学びの場が失われる

3：土の下に眠る鎌倉古道の遺構がアスファルトにより完全に覆われてしまう

4：アスファルトを敷くことにより、一面の気温上昇が起る

（花粉が吸収されず舞い上がる可能性もあります）

5：野うさぎなど公園に住む生き物たちの居住空間が失われる

6：せっかく残っている里山の景観が壊されてしまう

野津田の自然を未来に引き継ぐ会

東京都町田市にある野津田公園の豊かな自然が大好きで大切に思う、地域住民、地域の学校関係者で自然を未来に残し引き継いでいくために立ち上げた会です。
地域住民：木津明子 大和繁 奥村憲雄 長澤みどり きくかわなつこ
農村伝道神学校：瀬戸英治
野津田雑木林の会：久保礼子
地域開発プロデューサー：清原理
環境NPO代表、大学教員：松村正治

「町田市の宝、野津田公園・上の原広場の自然を未来につなごう」

上の原広場の利用計画を見直してください

町田市長 石阪丈一様

町田の誇りFCゼルビアの青と豊かな自然の緑。

このFCゼルビアのホーム野津田公園には、サッカーをはじめとするスポーツだけではなく豊かな自然と希少な生き物が息づく大切な場所があります。そのひとつが「上の原広場」。

多摩丘陵の昔から続く原風景がここには今も残されています。

虫や草花、鳥、さまざまな生命の歌声が聞こえてきます。野いちごがたわわにみどり、ミツバチや蝶が小さな羽音をたてて蜜を吸いにきます。のびのび遊ぶ子どもたちの声も響きます。四季折々の美しい景色が広がっています。

この広場は近隣の小学校や幼稚園、保育園や福祉施設など、さまざまな人が日々のお散歩や遊び場、また生き物や環境についての学びの場として利用しています。

この貴重な多摩丘陵の原風景が町田市の大型バス回転場の建設により失われようとしています。

この上の原広場以外の公園内外に代替案となる場所があるにもかかわらず、そのような提案を退け、住民や広場を利用する人々の意見が十分に反映されないままに強引に計画が進められているのです。

住民の意見を十分に聞くことなく進められる政策には大きな問題があります。

私たちはスポーツの楽しさと自然との共生が両立できる公園を守りたいと思っています。

この署名を通じて町田市に対し、上の原広場の利用計画を見直し、地域の声を始めとする人々の声を反映させるように働きかけることを目指します。

町田市の魅力は、「ただの開発だけではなく、自然とスポーツが共にあること」にこそある。

そして公園はみんなのもの。里山の原風景的な草地がある公園は、全国でも本当に少ないのです。

サッカーをはじめとするスポーツと自然を愛するすべての人が、どちらも大切にできる道を選ぶように、ぜひこの署名にご協力ください。

みんなで町田の「青」と「緑」を守りましょう！

お名前	住所（町名まででも大丈夫です・メールアドレスでもOK）

署名用紙送付先：☎195-0063 東京都町田市野津田町2024 農村伝道神学校



〳〳
オンラインでの署名でも大丈夫です。
多くの方に広く知っていただきたいので、
SNSなどでシェアの
ご協力をよろしくお願いいたします。
〳〳



野津田の自然を未来に引き継ぐ会

東京都町田市にある野津田公園の豊かな自然が大好きで大切に思う地域住民・地域の学校関係者で自然を未来に残し引き継いでいくために立ち上げた会です。

地域住民：木津明子 大和繁 奥村憲雄 長澤みどり きくかわなつこ 農村伝道神学校：瀬戸英治
野津田雑木林の会：久保礼子 地域創発プロデューサー：清原理 環境NPO代表、大学教員：松村正治